

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公開番号】特開2013-226965(P2013-226965A)

【公開日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-061

【出願番号】特願2012-101259(P2012-101259)

【国際特許分類】

B 6 0 J 3/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 J 3/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月24日(2015.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両のリアウインドウを遮蔽するシェード装置であって、
 前記リアウインドウを遮蔽可能なシェードと、
前記リアウインドウの床側に配設され、前記シェードを引出収納可能に巻き取る巻取装置と、
 前記シェードの引出側端部に取り付けられた長尺形状の引出部材と、
前記リアウインドウの天井側縁部の付近の車両天井に配設され、前記引出部材を前記シェードが引き出された状態で保持可能な引出保持機構部材と、
一端が前記引出部材に取り付けられ、前記引出保持機構部材を通して他端が車両前方側に配置されたワイヤーと、
を備え、
前記引出保持機構部材は、
前記ワイヤー他端の引っ張り操作により移動される前記引出部材によって押動されるスライダ部と、
前記スライダ部を、前記引出部材の移動方向に移動可能に支持する支持基部と、
前記スライダ部に連結され、前記スライダ部の押動によって前記引出部材を保持可能な保持姿勢をとり、さらに前記スライダ部の押動によって前記引出部材の保持を解除する保持解除姿勢をとるよう姿勢変更可能な保持部とを含む、シェード装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

第 1 の態様は、車両のリアウインドウを遮蔽するシェード装置であって、前記リアウインドウを遮蔽可能なシェードと、前記リアウインドウの床側に配設され、前記シェードを引出収納可能に巻き取る巻取装置と、前記シェードの引出側端部に取り付けられた長尺形状の引出部材と、前記リアウインドウの天井側縁部の付近の車両天井に配設され、前記引出部材を前記シェードが引き出された状態で保持可能な引出保持機構部材と、一端が前記

引出部材に取り付けられ、前記引出保持機構部材を通して他端が車両前方側に配置されたワイヤーとを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、前記引出保持機構部材は、前記ワイヤーの引っ張り操作により移動される前記引出部材によって押動されるスライダ部と、前記スライダ部を、前記引出部材の移動方向に移動可能に支持する支持基部と、前記スライダ部に連結され、前記スライダ部の押動によって前記引出部材を保持可能な保持姿勢をとり、さらに前記スライダ部の押動によって前記引出部材の保持を解除する保持解除姿勢をとるように姿勢変更可能な保持部とを含む。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、第1の態様に係るシェード装置によると、引出保持機構部材は、ワイヤーの引っ

張り操作により移動される引出部材によって押動されるスライダ部と、スライダ部を、引出部材の移動方向に移動可能に支持する支持基部と、スライダ部に連結され、スライダ部の押動によって引出部材を保持可能な保持姿勢をとり、さらにスライダ部の押動によって引出部材の保持を解除する保持解除姿勢をとるように姿勢変更可能な保持部とを含むように構成されている。このため、ワイヤーを引っ張るだけで引出部材を保持、保持解除することができ、より簡単にシェードの引出状態を維持すると共に収納操作することができる。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】